

競 技 注 意 事 項

1. 本競技会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。

2022年1月1日にWA競技規則TR5の改正と、新たな「競技用靴に関する規定」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長はいつでもシューズチェックする権限を持ち、参加者はその指示に従わなければならない。競技後シューズの違反が認められたときは、「失格扱い」となり、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは1次招集時に行う。)

○靴底の厚さに関する規定(TR5.13.3)表

種目	靴底最大の厚さ (TR5.5、TR5.13.3)	要件・備考
フィールド種目 (除：三段跳)	20 mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25 mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25 mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 (競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは40mm)
道路競技 (競走、競歩)	40 mm	

※本記録会は、フィールド競技シューズ規則(上記)の適用を除外する。

2. 競技場への入場について

- (1) 競技者等の最初の入場は出場種目開始時刻の2時間前からとし、1F正面入口のみとする。その際、選手証の交付を受けること
- (2) 再入場・退場はマラソンゲートのみとし、選手証を競技役員に提示すること。
- (3) 無観客での開催とするので、正面2Fメインスタンド入口は開放しない。

3. 練習について

- (1) 練習はバックスタンド後方(東側)の練習走路を使用すること。走る方向は北から南の一方通行とし、逆走は禁止する。個人のハードル等は持ち込まないこと。また、ゴムチューブ等を使ったスピード練習は禁止する
- (2) 競技会開始前のトラックを利用した練習は、競技開始の30分前までとする。
〔ホームストレート・バックストレート〕
 - ・1レーンは使用しない ・ジョグはレーン外
 - ・2~5レーン=コーナーからのスプリント練習 ・6~9レーン=直線からのからのスプリント練習※順番待ち等は密を避けるように距離を保って待つこと。
- (3) 競技場でのリレー練習は一切認めない。
- (4) 競技場内はメディスンボールなど、物を投げる練習は禁止する。
- (5) 走高跳、走幅跳は準備が整った後、競技役員の指示で練習してもよい。
- (6) 競技場内での練習は、競技役員の指示に従うこと。

4. 招集について

- (1) 競技開始 2 時間前～1 時間前（棒高跳のみ 1 時間 30 分前）までに「**体調管理チェックシート**」を室内練習場内に設ける競技者受付にて提出し、競技で使用するアスリートビブス・スパイクの確認を受けることで、1 次招集完了とする。但し、競技開始の 2 時間前が開門時刻より早いときは、開門時刻以降受付ける。
- (2) 2 次招集は現地とし、招集時間はトラック競技 15 分前開始 10 分前完了、フィールド競技 50 分前開始 40 分前完了とする。（棒高跳のみ 70 分前開始 60 分前完了とする。）
- (3) 1 次、2 次招集に遅れた競技者は欠場として処理する。
- (4) 同日に個人種目、リレー種目の多種目に出場する場合は、体調管理チェックシートにすべて記入し、最初の種目の 1 次招集を完了することで、その後の種目の 1 次招集も兼ねることとする。
- (5) 欠場する競技者は、プログラムにある欠場届を競技者係へ提出すること。
- (6) リレーのオーダー用紙提出時刻は、開門時刻から組により設定されている競技開始時刻の 90 分前までに競技者係へ提出のこと。また、顧問のサインが必要とするが、今回は代筆を認める。

5. 競技について

- (1) アスリートビブスは必ず胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技は胸部または背部だけでよい。トラック種目では、腰ナンバーカードをパンツの右側やや後方に付けること。なお、4×400mリレーの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつけること。
- (2) スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候競技場用のものを使用すること。ただし、走高跳については12mm以下とする。また、スパイクの直径は先端近く（少なくとも長さの半分）で、4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。
- (3) トラック種目では、すべてタイムレースとする。
- (4) 短距離競走は、フィニッシュラインを過ぎてでもレーンに沿って走ること。
- (5) 競技エリア内に通信機器（携帯電話等）やビデオ撮影機器（タブレット等）を持ち込んではいならない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技中に競技者が、それ以前の試技の映像を、録画再生機器などをスタンドからの手渡しや吊り下げる等により競技エリア内に持ち込むことは認めない。
- (6) 集団での声援（応援）及び不正な助言行動は自粛すること。
- (7) フィールド種目について
 - ① トップ 8 を行う。
 - ② 各種目で次の記録以下は計測しないことを原則とする。（1 回は計測）
 - ・走高跳 男子 1m50 女子 1m25
 - ・走幅跳 男子 5m20 女子 4m20
 - ③ 走幅跳は 1・3 組（メインスタンド前トラック側）、2・4 組（メインスタンド側）で行う。走高跳は第一曲走路内側のメインスタンド側を 1 組、バックスタンド側を 2 組とする。
 - ④ バーの上げ方は下記のとおりとする。※練習の高さは当日現地で決定する。
 - ・走高跳 男子 1.50－1.55－1.60－1.65－1.70－1.75－1.80 以降 3cm ずつ
 - 女子 1.25－1.30－1.35－1.40－1.45－1.50 以降 3cm ずつ
 - ⑤ 投てき種目の計測は、ベスト記録のみを計測する。
 - ⑥ 投てき競技や棒高跳びの滑り止めについては、主催者は準備しないので、個人で持参すること。

6. 競技場の使用について

- (1) 競技者・付添等の関係者は指定された出入口から入退場すること。
- (2) 声を出しての応援は禁止する。
- (3) 横断幕、ノボリの設置はすべて禁止する。
- (4) 以下の箇所にはテントを設置しないこと。
 - ①南北の芝スタンド（土盛スタンド）の中段より下
 - ②メインスタンド中段通路より下側およびメインスタンド屋根下
 - ③テントを設置する際は、ロープ等が通路にかからないようにすること。
- (5) 使用した場所は各学校で責任を持って清掃し、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (6) トラック、フィールドおよび練習走路以外でのスパイクの着用は禁止する。
- (7) 更衣室は10名以内で更衣のみの利用とし、マスクを着用して会話しないこと。使用時間は、1人5分以内とする。また、清潔に使用し私物を置かないこと。

7. 免責事項について

- (1) 競技中に生じた事故については、応急処置の他一切の責任を負わない。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染状況により急遽、競技会について変更になる場合がある。
- (3) 競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。

8. その他

- (1) 顧問の受付がない学校の競技者の出場は認めない。
- (2) プログラムは、配布しないので各校で印刷準備すること。
- (3) 記録は、電光掲示板およびWEB ページで確認すること。（記録ボードは設置しない。）
- (4) すべての競技者は、競技中もしくは試技中以外はマスク着用を徹底し、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- (5) 声を出しての応援は禁止する。
- (6) 盗難の発生や忘れ物に注意し、荷物等の管理は各校で十分注意すること。
- (7) 当日はゴミ箱を撤去しているので、ゴミはすべて各自持ち帰ること。
- (8) プログラム記載の個人情報（氏名、学校名など）および大会結果は、大阪陸上競技協会のWEB サイト（大阪高体連陸上競技専門部3・4地区）に記載されるが、本大会関係以外には一切使用しません。